

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2024 9

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2024年9月



火打山

「逆さ火打」

火打山登山道絶景の地、天狗の庭からのショットです。池塘に映る逆さ火打を、水面の波のおさまりと雲の配置のバランスを図りながら撮影しました。黄金色に染まる芝紅葉と紺碧の空とのコントラストが絶景に一層の輝きを加えてくれました。

(片平和生・渋谷山の会ウルスカディ/東京)

- 全国遭難対策担当者会議の報告
- 10月5-6日、静岡にてハイキング交流集会

■ 遭難対策部

7月6日～7日 全国遭難対策担当者会議



7月6日から7日全国事務所にて遭難対策担当者会議が開催され 24 地方連盟から 33 名、全国連盟から6名、講演者と報告者2名、合計 41 名が参加した。全国遭難対策担当者会議としては、前回7年振りの地方開催を経て、全国連盟事務所での開催となった。

★1日目には、全国遭難対策部からのデータによる事故分析「2022年から2023年の事故統計から」石川より基調報告を行う。次に、鹿屋体育大学名誉教授山本正嘉氏から「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント～山での上手な歩き方と普段からのトレーニングへ」として講義を受ける。近日発売された新書刊による「登山と身体の科学」から、安全に楽しく登山をする為に運動生理学の見地から、疲れにくい歩き方、栄養補給の方法、日常でのトレーニング方法、デジタル機器やIT機器の効果的な使い方などを分かりやすく説明して頂いた。

休憩後、事故事例報告として「十方山・死亡事故」広島県連、「番所山・死亡事故」兵庫県連、「剣岳/日和田山・死亡事故」埼玉県連の報告を受けた。全体的な質疑・応答討論を18時過ぎまで行い、6日の日程を終了した。

★2日目は9時から再開され、山岳安全対策ネットワーク協議会・インカム(株)今史靖氏より「コンパス登山届の現状と使い方」の報告があった。「コンパス」利用前のスマホアプリ基礎知識や登山計画の作成等、より使いやすい利用方法から安心安全なツールやグループ機能の説明も、同時に参加していたシステムプロデューサー山村めぐみ氏から学んだ。参加者からは、年々使い方も良くなっていて、より理解が深まったとの意見が多かった。

休憩を経て、兵庫労山の安全対策委員の岸岡寛氏から事故統計による事故の発生状況や特徴等を事故防止の一助とする報告があった。参加者からは事故率には考慮が必要であるとの意見があった。次に、福岡県連の救助隊事務局長大塚三紀夫氏から県連救助隊活動について、各地区協議会での取りまとめについて発言があった。今後の救助隊の活動や道迷いや行方不明の対応についての提案や報告があった。最後に、石川(遭難対策部長)より遭難事故の防止についてこの2日間で学んだこと、事故の教訓を生かして安全登山に繋げて頂きたいとの討議のまとめとした。

★山本先生の講義については以前のお聞きした内容より整理されていて分かりやすく実践的な上りや下りの上手な歩き方を体験してみたいと思えた。事故報告については、死亡事故から導かれた教訓や安全面での対策について学ぶことがあった。半面、報告のまとめが不備な事例もあり今後の課題となった。「コンパス」については、この数年で使い方大きく改善され、登山届のツールとして活用できることが理解できた。

(遭難対策部部長 石川昌)

書籍紹介

山本正嘉・著(講談社刊)

登山と身体の科学

運動生理学から見た

合理的な登山術

登山とはどのような運動か/
山での疲れにくい歩き方/
山で起こる身体のトラブルを防ぐ/
体力トレーニングの考え方と方法/
安全登山の仕組みづくりとセルフチェック…等



■ハイキング委員会

「低山から高みへ、仲間を増やして頑張ろう！」

全国ハイキング交流集会 IN 静岡(伊豆長岡温泉)へご参加を！



コロナのパンデミックが落ち着いて2年目。多くのハイキングクラブやハイカーが登山を再開し、山々では登山者が溢れています。低山だけでなく、2,000m以上の山でも、週末には多くの登山者が見かけられるようになりました。しかも、一時、無雪期の山は中高年でいっぱい、という現象から、若い登山者が目立つようになり、山域によっては過半数を占めるという状態です。

地方新聞社と提携した登山教室では、定員を上回り、会・クラブ主催の登山教室でも多くの地方で二桁以上の受講者を迎えています。勤労市民の自然志向は中高年層から若い層へ大きく広がろうとしています。そのような状況の中で、従来の山岳会・クラブへの参加を避けて、ネットでの独学の登山やガイド(山岳ツアーも含む)による登山などの、新たな広がりもみられる状況です。

新しい登山情勢ともいえる昨今、2022年度の山岳遭難者数は3,500名を超え(警察庁発表)、2023年度はこれをさらに超えていると発表されています。特に遭難者の50%以上が60歳以上、さらに死亡・行方不明者

数も60歳以上が70%を占めているとされています。安全な登山・ハイキングは私たちの最優先課題です。又、会・クラブが地方連盟や全国連盟と協力してこの課題に立ち向かい、解決することが求められています。そしてその努力や成果を魅力として多くの会員を迎え入れることも可能になってきています。

さらに私たち労山は山岳団体の中で唯一、連盟規約で「登山・ハイキングを……普及、発展させる。」と明記した「あらゆる形態の登山にはすべて価値がある。」という登山の多様な発展を進めている団体です。又、昨今のウクライナやイスラエルでの戦争に対して「平和でなければ登山はできない」と、真正面から平和の問題を取り上げている山岳団体でもあります。

今度の交流集会では「登山活動や会員拡大、安全問題、自然保護や平和の問題」など多くの経験を語り合い、そして励ましあう集会にしましょう。全国各地からのご参加を心から訴えます。

(ハイキング委員会委員長 田上千俊)

※集会の詳細は本紙8ページを参照ください

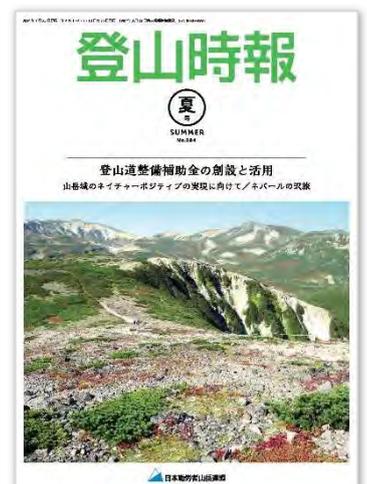
…………… 登山時報 2024年夏号のご案内 ……………

【特集】登山道整備(青森県連・八甲田山、京都府連・大文字山、愛媛県連・石鎚山系堂ヶ森の登山道整備)、「共助」による新しい登山道管理の仕組み(花村泰広)、「沢登りの地平線」が見えた…ネパールの沢旅

個人購読・受付中!! 【年間購読料】1,200円(年4回発行。送料・税込)

【申込方法】郵便局の払込取扱票等を利用し、購読料を送金ください

通信欄に次の項目を記入いただくかメール等でお伝えください。①購読者氏名、②購読部数、③送付先住所、④電話番号またはメールアドレス、⑤開始を希望する号(例:2024年夏号から)、【口座】00120-8-108163、加入者名「労山機関誌委員会」



▲ 部・局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部

近年の異常気象に細心の注意を

8月1日までに届いた事故一報は、40件42名。死亡事故が2件と、救助不能の事例が1件発生した。1件は単独登山。日帰りなのに帰宅しなかった為家族が警察に連絡し、翌日ヘリによって発見され、搬出後に死亡が確認された。事故の状況や死亡原因は不明である。他は沢登りの事故。滝を高巻き中に20m滑落して途中のテラスと滝下に衝突した。救命処置を行ったが回復せず、ヘリで搬送後に死亡が確認された。更に海外登山(パキスタン・K2)で滑落があり、ヘリコプターによる救助が行われたが、高度と傾斜の角度により救助できず断念した。3件の事例から事故の状況や原因が特定され、事故防止に繋がる教訓が明らかになる事が必要だと考えている。

今月の事故原因は、転倒が19名、転・滑落が10名、虫・動植物が6名、その他が5名。登山形態は、無雪期が28名、登攀が3名、沢登りが10名、海外登山が1名。下山中の事故は18名(内16件が転倒事故)。今月はヘリ搬送されるケースが6件発生している。うち4件は沢登りの事故である。力量に合った沢のルートを選ぶとともに、沢で発生した事故事例の教訓を今一度確認し、安全対策の徹底をお願いしたい。今月は、立て続けに死亡事故(救助不能1件含)が3件発生し、8月を前にして今年には6名の方々が亡くなっている。重大事故を発生させない為に、最近の異常気象にも細心の注意を払い(地震や豪雨等)、計画の変更等柔軟に対応し登山を進めてほしい。また、高齢者の転倒事故の増加が、今年度の事故増加傾向に繋がっている。日頃より、山を歩くことを含め、運動生理学から見た合理的なトレーニング方法を学び実践することも必要だ。今年5月に発刊された「登山と身体の科学」著者・山本正嘉氏(発行 講談社)はお勧め。科学的な登山術である。(遭難対策部長 石川昌)

■ 海外委員会

海外山行調査用紙送付と開催要綱他の検討

7月最終日を目途として(個人のご家族の都合で遅れあり)、海外委員5名から対象者へ海外山行調査用紙を配信した。対象者からの返信は9月第1週を目途として、労山事務局のメールアドレスへ送付してもら

い、不明点があれば、各委員のメールアドレス宛で受け付けている。

委員会は8月13日19時30分から21時30分に開催し、山中委員が作成した第1回海外山行交流集会の案・以下3点について、時間を掛けて深く検討を行なった。①集会の案内(ズーム参加含め)、②申込書、③プログラム(時系列)。8月22日の第6回全国連盟理事会でこれらの説明を行い、承認されたら、正式文書を加盟団体の各会・クラブへ配信する予定である。(海外委員長 武笠真次)

■ 労山基金運営委員会

労山基金複数登録会員も、すべての山行で計画書提出を!

本誌7月号2P掲載の、複数の労山加盟団体に登録している場合の山行管理について、多く問い合わせがあった。7月1日付けの改定は、労山基金に登録するすべての加盟団体に山行計画書を提出して、山行管理を行うことを文章で明記したものの。改定の趣旨は、労山基金加入者にすべての山行管理を求めた。複数の会の会員となっていて、計画書を加入するすべての会に提出してなくて、事故発生時に交付申請を受け付けできない問題から、規定に明記し周知したものである。加入各会に山行計画書が提出されていれば申請可能。詳しくは、会・クラブ基金担当者オンライン実務説明会11月6日(水)19時開催(10月20日申込〆切)に参加を。

(労山基金運営委員 大澤辰雄)

★参加募集中 年齢制限がなくなりました!

■ JWAF フェス in みずがき

9月7日(土)~8日(日)

- ◆ 会場: 瑞牆山荘
- ◆ 1日目講演・北平友哉氏

「山と私~百名山から世界最難のワイドクラックへ」

30歳の時、伊吹山登山をきっかけに登山に目覚めた北平さん。百名山からクライミングへ没頭するに至った経緯、ワイドクラックの魅力とは!?

- ◆ 2日目企画(希望者のみ)

① 北平友哉講師“セカキタ”ワイドクラック体験会

② 篠塚優さんと登る瑞牆山パノラマコース

詳細は労山HP(上記QRコードから)を参照ください



労山基金 2024年7月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	兵庫県	60代男性 3口	2023/07/14 17時00分頃	ニセコアンヌプリ 山頂より約700m下った登山道	無雪期登山	転倒	下山開始約30分後、山頂より約700m下った登山道。谷側のえぐれた箇所が草で隠れていて見えず、そこに右足を踏み抜いて転倒。左足で支えて左足足首骨折。	左足関節脱臼骨折
2	群馬県	40代男性 5口	2023/07/16 15時00分頃	尾瀬・南会津 小淵沢 片品川	沢登り	転倒	小淵沢沢登り(約9時間)の活動中、片品川で顔などを洗おうと入水し、大きな石に足を置いたところ、石が転がり転倒して右手人差し指を受傷。	靭帯損傷・脱臼・拘縮
3	京都府	50代女性 5口	2023/07/29 08時30分頃	北ア 雲ノ平 雲ノ平山荘から薬師沢への下山途中	無雪期登山	転倒	雲ノ平山荘から薬師沢へ下山途中、木の根っこに足を取られ転倒し左足を骨折。救助要請し、ヘリコプターで搬送された。ヘリの着陸地点(雲ノ平木道の下端)迄は薬師小屋のスタッフ2人が交代で担ぎ上げてくれた。レントゲン撮影で左足骨折と判明。固定された後、自宅近くの病院へ転院。	左足骨折
4	神奈川県	40代男性 10口	2023/08/05 11時00分頃	奥秩父 小川山 洞沢岩峰群第4峰	登攀	転・滑落	洞沢岩峰群第4峰2ピッチ目をリード登攀中、右トラバース時に足を滑らせ、左下へ振られるように5mフォールした。	腱損傷、打撲
5	東京都	60代女性 5口	2023/08/03 06時40分頃	尾瀬・南会津 会津駒ヶ岳	無雪期登山	転倒	中門岳から駒の小屋まで戻る途中、小屋まで約700メートルの地点で、木道の段差がある事と一部が腐食していたため、木道と木道の間の地面を歩こうとして、右足から足を踏み入れたところ、濡れていた多量の笹に足を滑らせて転倒した。その際、握っていたストックごと右手も突いてしまった。	右橈骨遠位端骨折
6	道央地区	30代男性 5口	2023/07/30 13時30分頃	日高山系 中ノ岳 川中ノ岳南面	沢登り	転倒	沢下降中、浮石を踏んでしまい転倒。崩れた岩が右膝下になり、負傷した。	右下腿筋挫傷
7	神奈川県	50代男性 5口	2023/08/19 10時10分頃	奥秩父 太刀岡山 左岸陵	登攀	転・滑落	事故者がリードで3Pをスタートし、1ピン目に1番のカムをセットした後、ハンドクラックの中間あたりでスリップして転落した。1ピン目のカムに一瞬ぶら下がった後、カムが外れ転落。ピレイヤーに衝突した後、地面でバウンドし、2ピッチ目のクラックの中へ落ちた。	左肩甲骨骨折
8	東京都	40代女性 10口	2023/08/20 14時00分頃	鳥海山 大平ルート	無雪期登山	その他	下山途中から膝がキュルキュルと鳴る感覚が出はじめ、下山後にアスファルトを歩くと膝が痛み腫れはじめた。翌日に受診すると、膝に50ccほど水が溜まっていた。	変形性膝関節炎
9	神奈川県	60代女性 3口	2023/10/08 12時30分頃	中央アルプス 御嶽山 7合目行場山荘より7 ~80m上の木道上	無雪期登山	転倒	先下山した仲間を追いかけて下山中、濡れた木道で右足が右にスッと滑って左足が外側にグキッと曲がった。	左腓骨遠位骨折
10	埼玉県	40代男性 10口	2023/11/19 14時00分頃	奥武蔵・秩父 二子山西岳 西岳本峰下部エリア	登攀	転・滑落	「魍魎魍魎」というルートの核心でフォールし、下の小テラスにかかとをぶつけた。	左足かかとの骨折
11	栃木県	50代男性 10口	2024/02/24 10時00分頃	戸隠連峰 西岳 P1尾根	積雪期登山	転・滑落	P1尾根経由で西岳登頂後同ルート下山開始(8:30)。鎖場トラバース中に坂氏が滑落(10:00頃)。30メートルほどの崖を滑落した後、緩斜面を50メートルほど転がり、その後その先の崖から転落。(2024/4/25長野県警のヘリで発見→収容)	死亡
12	千葉県	70代女性 3口	2024/03/10 11時00分頃	関東・甲信越その他 雪入山 あきば峠に 下るあたり	無雪期登山	転倒	急な道を降りた後、なだらかになった所で転倒した。痛かったが歩けたのでそのまま歩いた。痛みがおさまり、あきば峠より車道を歩いたので下山し駐車場へ戻った。帰宅後腫れてきたので整形外科を受診。	右足首靭帯損傷
13	道央地区	70代男性 5口	2024/03/13 15時00分頃	海外 カラバートル ディンボジェ〜ロブ チェの後半	海外登山	高度障害	3/7トッキング開始。3/12まで支障無し。3/13午後高山病を発症。疲労困憊憔悴の状態登山小屋に到着。到着時のサトメーター(SP02)酸素飽和度は60。その後32になり山小屋の酸素ボンベを朝まで使用。酸素吸引後もSP02の計測値は大半不能だった。	肺水腫
14	福岡県	60代女性 3口	2024/04/17 12時20分頃	九州 田原山 熊野磨崖仏分岐から 田原山間の登山道	無雪期登山	転倒	前夜寝不足気味でふらつき、右足の着地点が柔らかく、バランスを崩して6m程転落し、木々でとまる。額に軽い擦り傷、右胸に痛みがあるが自力で下山。	肋骨3本骨折
15	埼玉県	60代男性 10口	2024/04/21 11時00分頃	奥秩父 鶏冠山 木賊山との間	無雪期登山	その他	先行者がはねのけた松の枝が右目にあたる。	右目眼球打撲
16	東京都	60代男性 5口	2024/04/19	北ア 雄山 東ノ越の直下	山スキー	転・滑落	当日は寒気で室堂は凍結、視界もガスのため、一ノ越→東ノ越→タンボ沢に変更。東ノ越からの急斜面も凍結、横滑りの繰り返いで、慎重に滑り降りた。数日前の凍結した他者のシュプールに引っかかって、頭部を下にして転倒。標高差60~70m滑落。右肩の腱を伸ばし、右手首も痛めた。	右肩腱板損傷・ 右手首三角線維 軟骨複合体損傷
17	埼玉県	50代女性 10口	2024/05/26 09時00分頃	谷川連峰 谷川岳 一ノ倉南陵取りつき 付近	登攀	落石	登攀のためのロープの準備をしていたところ、上部から「落」という声とともに直径5センチほどの岩が自分から1メートルほど離れた付近に落下、落下時に砕けた岩の一つが首の後ろの部分に激突した。	殺傷、打撲
18	岡山県	60代女性 3口	2024/06/01 不明	中国・四国その他 金刀比羅山	無雪期登山	虫・動植物	草刈りをしていないじめじめした林道、昼食時には草の上にシートを敷き座った。帰宅後すぐには気づかず、2日後に左大腿部の後ろ側がブツツと膨らんでいることに気づき、よく見るとマダニであった。皮膚科を受信し皮膚ごと切除した。	左大腿後部 マダニ刺咬傷

※口数等：(団)＝団体口数、(個)＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

7月1日から8月1日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	
1	6/30	群馬	60	男	大若沢	沢登り	転・滑落	沢登で4m滝を登攀中、スリッパして岩に右手中指を突いてしまい負傷。	右手中指突き指
2	5/30	滋賀	66	男	皇海山	無雪期	虫・動植物	六林班峠～女山間の藪漕ぎでマダニに刺されたと思われる。同行者もマダニが付いていたが、帰宅後取り除いたので問題なし。20日近く経過後に左腰の腫れに気づき、皮膚科でマダニを摘出。	マダニによる腫れ
3	6/23	滋賀	66	男	ウベバサンケ山	無雪期	虫・動植物	登山中にマダニに刺されたと思われる。場所と時間は不明。同行者もマダニに刺された。翌日刺された部分が腫れたので比布町の皮膚科に行きマダニを摘出。	マダニによる腫れ
4	6/23	滋賀	65	女	ウベバサンケ山	無雪期	虫・動植物	同上	マダニによる腫れ
5	6/7	鹿児島	81	女	平治岳	無雪期	虫・動植物	直接の原因は不明だが、藪漕ぎをした。山荘で悪寒・発熱となり救急車で運ばれた。	蜂窩織炎
6	6/20	宮城	62	男	船形山	無雪期	転倒	宮城県連主催の船形山登山道整備を終え、升沢ルートへ下山中に転倒し右足首を捻挫。	内反捻挫
7	6/30	道東	39	女	野塚岳	沢登り	転倒	下山開始、10分程度のところで足を滑らせ、手を着いたときに左手を負傷。	左橈骨遠位端骨折
8	6/8	東京	58	女	甘利山・千頭星山	無雪期	転倒	千頭星山を下山途中、甘利山に向かうところ。午後1時30分頃。石に滑り転倒した。転倒した際、左肩を捻ってしまったようです。	左肩関節捻挫
9	6/16	兵庫	75	女	五峰山	無雪期	転倒	(詳細不明)	打撲・擦過傷(右膝) 左手首捻挫
10	6/19	新潟	67	女	二子玉岳	無雪期	虫・動植物	左足すねを虫に刺される。かゆみが強く、赤く腫れた。	虫刺され
11	6/22	新潟	67	女	笠ヶ岳	無雪期	転倒	下山中、登山口まで30分くらいの岩場でつまずき転倒し、一回転する。その際、右足すね、左足膝を強打する。	打撲
12	6/29	長野	48	女	片品川支流小淵沢(ニゴリ沢)	沢登り	その他	登攀中、岩に腕をついて登ろうとしたところ、変に力がかり肩を垂脱臼した。	左肩脱臼
13	6/30	徳島	63	女	西黒森山	無雪期	体勢	ロープ場を横断中に足を滑らし、ロープを握っていた為に身体が回転し岩に肩を殴打。	鎖骨骨折
14	6/21	群馬	70	男	鳥海山	無雪期	転倒	ザレた登山道を下山中、石車に乗り転倒し、左足首を内側に捻る。痛みを感じるものの、自力で歩き、約3時間後鋒立登山口着。帰宅後、整形外科にて骨折と診断。	左足首一部骨折
15	6/26	石川	74	男	大倉山	無雪期	その他	登山の翌日、起床すると右ひざに痛みと下肢のしびれが発生した。下山後膝の異常。	右膝関節炎
16	6/30	大阪	74	女	弥山	無雪期	転倒	狼平避難小屋に降りる木道の長い下山で、降雨後の中、滑って片手をついて転倒。手首の痛み・腫れが引かず、後日の受診で骨折(ヒビ)と診断。	骨折
17	7/6	京都	67	女	金毘羅山	無雪期	転・滑落	金毘羅山、Y懸尾根下降中、チムニー状の岩場において、右足が不安定のままクライムダウンをしようとしたが、足場が取れず他の3点でも支えきれず滑落。2～3m下の地面に背中から落ち、その勢いでさらにそこから斜面を15m近く転がる。	背中側肋骨 3・4番目骨折
18	7/7	岡山	70	男	氷ノ山	無雪期	転倒	登山入門講座のサブリーダーとして、氷ノ山から下山中、振り向いて確認した時バランスを崩して転倒。左手を突いて手首を骨折した。	左手首骨折
19	7/7	兵庫	58	女	大山	無雪期	転倒	下山開始後1時間くらいで、木の上に足を置いた時に滑って転倒した。その際に膝を強打。翌日病院に行き、レントゲン・エコー検査をし、骨には異常はなかった。	打撲
20	7/7	京都	76	女	大文字山	無雪期	転・滑落	長等山テラスから下山中、登山道で木の根に躓き転倒。顔面(おでこ)強打。	顔面強打
21	7/6	兵庫	57	女	烏帽子岩 駒形岩	登攀	その他	駒形岩をトップロープクライミング中に、右手で岩を右後方へプッシュして登ろうと力を入れた時に右肩から異音が出た。トップロープだったため、脱臼したとビレイヤーに告げ降りた。	脱臼
22	6/30	新潟	60	女	弥彦山	沢登り	転・滑落	1つ目の滝の3mほど登った所から滑り滑落。その時は痛くなかったので打撲と思い沢登りを継続し、自宅に帰り確認すると右足膝と左手を負傷していた。	右膝蓋部・左前腕 挫創
23	7/13	宮城	67	男	斜里岳	無雪期	転倒	渡渉が連続する沢登り要素のあるコースを歩き、濡れた大岩の行く手を探すため一歩下がった時、右足元が草付きで滑りバランスを崩し、左肩から転倒、強打した。警察と消防に救助を要請し、消防渡渉部隊4人また警察渡渉部隊2人が現地に到着。北海道警察ヘリコプターに救助された。	左肩脱臼、骨折
24	7/13	広島	80	女	野呂山	無雪期	転倒	野呂山の周辺を6人で下山中、濡れた木道上で滑って転倒しその際右手を付いた。連休明けの7月16日に受診し、右手首の骨折が判明。	右手首骨折
25	7/14	道央	67	女	十勝岳	沢登り	転倒	急斜面の沢を下る途中、左手でつかんだ岩が動いてバランスを崩した。崩れた岩とともに頭から転倒し、2回転ほど前転して尻もちを着いた状態で止まった。皆に支えられながらゆっくり下りてみたが、ある瞬間に激痛が走り1歩も歩けなくなり、ビバークして翌日ヘリ救助された。	右脛骨骨折及び右 前十字韌帯損傷、 要手術

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	
26	7/18	大阪	77	男	六甲山	無雪期	転倒	六甲山頂から高座の滝へ向う途中にあるロックガーデンを下山中にバランスを崩し2・3度転がるように転倒した。	左手首骨折・左肘裂傷
27	7/21	東京	59	女	大持山・大持沢	沢登り	その他	武甲山登山口先の大持沢に入沢。10分程で体調不調、胸の痛み、痙攣の発生があり、登山中止、入沢点の駐車場に戻る。救助依頼、救急搬送。ヘリポートよりドクターヘリにて日高市国際医療センターに搬送、入院となる。	検査中
28	7/21	和歌山	63	女	月山	無雪期	転倒	下山時の木道で滑り、その時に左手をつき骨折した。	左手骨折・ひび
29	7/21	愛知	54	女	鎌ヶ岳	沢登り	体勢	カズラ谷を脱渓後、鎌ヶ岳に登頂し、カズラ谷登山道を下山中、段差の大きなところで、うまく着地ができず、先に下した左足をねん挫した。	左足関節外果骨折
30	7/13	岩手	59	女	裏岩手縦走	無雪期	転倒	下山中に石に躓き、前のめりに転倒。膝と胸を強打。	膝打撲・肋骨骨折
31	7/22	大阪	76	男	大台ヶ原	無雪期	その他	単独日帰り山行であったが、22日中に帰宅しなかったため家族が警察に届け出。23日朝から奈良県警吉野署と消防による捜索とココヘリ捜索により発見されたが、23日19時過ぎに死亡が確認された。	死亡(事故の状況・死因等現在は不明である。)
32	7/21	埼玉	59	女	甲府幕岩	登攀	転・滑落	クライミング中、クリップ位置を過ぎてしまい、クライムダウン中に滑ってフォールした。その際右足首を捻って岩壁についてしまった。	右足関節外側々副韌帯損傷
33	7/27	道東	47	男	トヨニ岳	沢登り	転・滑落	滝を登り途中7~8m程の所でバランスを崩して滑落。730m地点の滝でロープ無しでトップで登っていたリーダーが滑落。	顔面裂傷・鼻の鼻骨骨折
34	7/13	道央	72	女	石垣山	無雪期	虫・動植物	道無き枯れた笹藪を掻き分けながら歩行中、突然、目に鋭い物で刺された痛みを感じ、それが自分で掻き分けた笹である事を理解した。突然で避けようがなかった。涙が出て痛みもあり、下山後受診した。	左目角膜剥離
35	7/27	長崎	55	女	多良山系	沢登り	転・滑落	沢登りの途中、掴んだ岩が剥がれて4mの高さから滑り落ちて受傷した。別のグループに救助要請をお願いし、警察・消防に連絡して貰った。自力歩行ができたため歩きやすい林道迄歩行し、その後救助隊と合流担架で運びヘリで病院に搬送した。	前頭骨骨折(左部顔面部位) 左手豆状骨骨折 全身打撲
36	7/26	宮城	70	男	富士山	無雪期	転倒	富士吉田口5合目、雲上閣ホテル出ようとして階段で躓き転倒、柱に頭部衝突。登山を中止し病院に行く。	頭部裂傷
37	7/27	群馬	45	男	K2	海外登山	転・滑落	日本時間7月27日9時33分にC2上部へ偵察に出て、同日11時30分に第二バンド直下の7500m付近から滑落し、同日にヘリコプターでの救助が行われましたが、標高と斜面の角度の関係で着陸できず救助不可。この時パイロットは両名の位置を確認。	死亡
38	7/27	福岡	25	男	市房山	沢登り	転・滑落	二段の滝の上段(20m程度)を右岸から高巻いて、踏み跡上をトラバースして滝上に向かう途中で20m滑落し、途中テラスと滝下に衝突した。駆けつけて浅い滝つぼから引き上げ救命措置を行ったが回復せず。ヘリで搬送されたが死亡が確認された。	死亡
39	7/28	滋賀	67	男	武奈ヶ岳	無雪期	転倒	武奈ヶ岳に向かう途中、深谷のロープを渡してある渡渉地点の岩で足が滑り、バランスを崩して転倒、左手首外側の上部を強打、引き返し下山後、その足で整形外科を受診。	左手首骨折
40	8/3	神奈川	43	女	小川山	登攀	滑落	終了点間近の最終クリップ地点より3mフォール。斜めに張り出したテラス状の壁に足から着地して骨折した。	左足内顆骨折
41	7/21	東京	71	女	蓼科山	無雪期	転倒	山頂から神社に向かう途中転倒し、岩にぶつけ目と眉毛の間を2センチ程切り、出血。	顔面裂傷
42	7/21	東京	62	女	蓼科山	無雪期	転倒	下山中植物に気を取られ転倒し、右大腿部、左膝、右手の平を打撲。	足の打撲

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	1	0	2	0	6	6	0	0	15
女性	0	1	2	8	9	5	2	0	27
合計	1	1	4	8	15	11	2	0	42

形態	無雪期	積雪期	人工壁	海外	登攀	氷瀑	沢登り	合計
男性	11	0	0	1	0	0	3	15
女性	17	0	0	0	3	0	7	27
合計	28	0	0	1	3	0	10	42

原因	転倒	転・滑落	体勢	落石/氷	虫/動植物	病気	下山遅れ	その他	合計
男性	7	4	0	0	2	0	0	2	15
女性	12	6	2	0	4	0	0	3	27
合計	19	10	2	0	6	0	0	5	42

その他:脱臼2、体調不良1、下山後の痛み1、不明1

傷病	骨折	裂傷	咬傷	捻挫	脱臼	打撲	損傷	その他	合計
男性	5	2	2	1	0	0	0	5	15
女性	10	1	1	2	2	4	2	5	27
合計	15	3	3	3	2	4	2	10	42

その他:突き指1、蜂窩織炎1、虫刺され1、関節炎1
挫傷1、検査中1、網膜剥離1、死亡3

低山から高みへ 仲間を増やし、頑張ろう

第22回



記念講演 10/5 13:30~15:00

『いまさら聞けない天気常識 とネットで分かる気象情報』

気象予報士／野尻英一さん

【野尻さんの横顔】1962年生まれ。小学校の時読んだ本で雲の形や台風に興味を持ち、5年生の時にはNHKの「気象通報」を聞き何と天気図を作成したという。1998年に気象予報士の国家試験に合格。2019年に700山登山を達成。

- 1日目 13:00開会
基調報告
田上：ハイキング委員長
記念講演 13:30~15:00
各会・活動報告（前橋HC、東京大田HC、山陽カルチャーMC）
分散討論
入浴・夕食交流会

- 2日目
分散討論（～10:30）終了後、
3コースに分かれて
交流ハイキング
①野尻講師と登る葛城山452m
（観天望気講習のため
ロープウェイ利用）
②大仁城山（おおひとじょうやま）
342m（登山口まで静岡県連
会員が車でお送りします）

★日時 10月5日(土)13:00~6日(日)10:30

2日目終了後 交流ハイクあり(自由参加)

★会場 静岡県・伊豆長岡温泉

いづみ荘旅館（長岡温泉第1号 源泉の宿）

★参加費 15,000円(1泊2食付)

日帰り参加は1,000円

★募集 宿泊50名 日帰り20名

申込書の詳細は
労山HPを
ご覧ください→



主催 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会
主管 静岡県勤労者山岳連盟